

1

	借 方	貸 方
a	当座預金 3,952,000	売買目的有価証券 3,908,000 有価証券売却益 28,000 有価証券利息 16,000
b	保証債務 15,000	保証債務取崩益 15,000
c	建物 88,000,000 新築積立金 88,000,000	建設仮勘定 65,000,000 当座預金 23,000,000 繰越利益剰余金 88,000,000
d	鉱業権償却 3,600,000	鉱業権 3,600,000
e	子会社株式評価損 8,700,000	子会社株式 8,700,000
f	その他有価証券 105,000	その他有価証券評価差額金 105,000
g	資本金 5,500,000 その他資本剰余金 5,500,000	その他資本剰余金 5,500,000 未払配当金 5,000,000 資本準備金 500,000

<ポイント解説>

a 売買目的有価証券： $(\text{¥}7,000,000 \times \frac{\text{@¥}97.5}{\text{@¥}100} + \text{¥}14,000) \times \frac{\text{¥}4,000,000}{\text{¥}7,000,000} = \text{¥}3,908,000$

なお、買入時の端数利息¥7,000は、売却時の仕訳では考慮する必要はありません。

c 新築積立金などの任意積立金を取り崩したときには、繰越利益剰余金に振り替えます。

e 子会社株式評価損： $\text{¥}15,600,000 - \text{¥}6,900,000$ (実質価額) = ¥8,700,000

実質価額： $(\text{¥}46,500,000 - \text{¥}35,000,000) \times \frac{300\text{株}}{500\text{株}} = \text{¥}6,900,000$

g その他資本剰余金からの配当の際に積み立てる準備金は、資本準備金です。

第90回簿記実務検定試験 1級会計 解答速報

2

(1)

①	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
	22.4 回	2	140.0 %	212.5 %	4	76.5 %

<ポイント解説>

ア 第9期の商品回転率：
$$\frac{\text{売上原価}}{\text{商品有高の平均}} = \frac{205,296\text{千円}}{(9,240\text{千円}+9,090\text{千円}) \div 2} = 22.4 \text{ 回}$$

ウ 第8期の当座比率：
$$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} = \frac{5,730\text{千円}+3,850\text{千円}+5,650\text{千円}+4,370\text{千円}}{4,620\text{千円}+5,795\text{千円}+3,240\text{千円}+345\text{千円}} \times 100 = 140.0\%$$

エ 第9期の流動比率：
$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} = \frac{30,260\text{千円}^{\ast}}{4,530\text{千円}+5,605\text{千円}+3,740\text{千円}+365\text{千円}} \times 100 = 212.5\%$$

※ 当座資産=14,240千円(流動負債)×147.5%(当座比率)=21,004千円
 流動資産=21,004千円+9,090千円(商品)+166千円(前払費用)=30,260千円

カ 第9期の負債比率：
$$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}} = \frac{27,234\text{千円}}{20,180\text{千円}+2,680\text{千円}+1,440\text{千円}+2,650\text{千円}+8,650\text{千円}^{\ast}} \times 100 = 76.5\%$$

※ 繰越利益剰余金=8,600千円-1,590千円(配当および処分)+1,640千円=8,650千円

②	a	第8期の自己資本	35,000 千円
	b	第8期の固定負債	13,475 千円
	c	第9期の有形固定資産	31,374 千円

<ポイント解説>

- b 第8期の固定負債：62,475千円(資産合計)-35,000千円(自己資本)-14,000千円(流動負債)=13,475千円
 c 第9期の有形固定資産：35,600千円(自己資本)×91.5%(固定比率)-1,200千円(長期貸付金)=31,374千円

(2)

当座預金出納帳の次月繰越高	¥	570,000
---------------	---	---------

<ポイント解説>

¥520,000(当座預金出納帳残高)-¥50,000(引落未記帳)+¥100,000(未渡小切手)=¥570,000
 または、¥720,000(残高証明書金額)-¥150,000(未取付小切手)=¥570,000

(3)

ア	3,800 千円
イ	950 千円
ウ	1,990 千円
エ	1,260 千円

<ポイント解説> (金額単位：千円)

開始仕訳：	(借) 土地	200	(貸) 評価差額	200
	(借) 資本金当期首残高	3,000	(貸) 子会社株式	3,800
	利益剰余金期首残高	800	非支配株主持分当期首残高	1,200
	評価差額	200		
	のれん	1,000		

当期の仕訳：	・のれんの償却			
	(借) のれん償却	50	(貸) のれん	50
	・非支配株主に帰属する当期純利益の計上			
	(借) 非支配株主に帰属する当期純利益	150	(貸) 非支配株主持分当期変動額	150
	・子会社の配当金の修正			
	(借) 受取配当金	210	(貸) 剰余金の配当	300
	非支配株主持分当期変動額	90		

ア (土地) : $2,000(P社) + 1,600(S社) + 200 = 3,800$

イ (のれん) : $1,000 - 50 = 950$

ウ (利益剰余金) : $1,900(P社) + 1,000(S社) - 800 - 50 - 150 - 210 + 300 = 1,990$

エ (非支配株主持分) : $1,200 + 150 - 90 = 1,260$

3

ア	イ	ウ	エ
1	3	10	8

<ポイント解説>

ア：明瞭性の原則（企業会計原則・一般原則四）

企業会計は、財務諸表によって、利害関係者に対し必要な会計事実を明瞭に表示し、企業の状況に関する判断を誤らせないようにしなければならない。

イ：固定資産の維持などのための収益的支出は支出した期の費用とし処理、資本的支出は資産として処理します。

第90回簿記実務検定試験 1級会計 解答速報

4

(1)	<u>貸借対照表</u>		
岡山商事株式会社	令和〇2年3月31日		(単位:円)
	<u>資産の部</u>		
I 流動資産			
1. 現金預金		(3,904,000)	
2. 受取手形	(2,200,000)		
貸倒引当金	(22,000)	(2,178,000)	
3. 売掛金	(3,000,000)		
貸倒引当金	(30,000)	(2,970,000)	
4. (有価証券)		(1,200,000)	
5. (商品)		(2,263,000)	
6. (前払費用)		(60,000)	
流動資産合計			(12,575,000)
II 固定資産			
(1) 有形固定資産			
1. 建物	7,500,000		
減価償却累計額	(1,800,000)	(5,700,000)	
2. 備品	3,500,000		
減価償却累計額	(1,708,000)	(1,792,000)	
3. 土地		3,185,000	
4. 建設仮勘定		4,800,000	
有形固定資産合計		(15,477,000)	
(2) 投資その他の資産			
1. 投資有価証券		(1,952,000)	
投資その他の資産合計		(1,952,000)	
固定資産合計			(17,429,000)
資産合計			<u>(30,004,000)</u>

第90回簿記実務検定試験 1級会計 解答速報

負債の部

I	流動負債		
	1. 支払手形	701,000	
	2. 買掛金	2,102,000	
	3. (未払費用)	(8,000)	
	4. (未払法人税等)	(504,000)	
	流動負債合計		(3,315,000)
II	固定負債		
	1. 長期借入金	4,000,000	
	2. (退職給付引当金)	(1,869,000)	
	固定負債合計		(5,869,000)
	負債合計		(9,184,000)

純資産の部

I	株主資本		
	(1) 資本金		14,000,000
	(2) 資本剰余金		
	1. 資本準備金	1,900,000	
	資本剰余金合計		1,900,000
	(3) 利益剰余金		
	1. 利益準備金	1,300,000	
	2. その他利益剰余金		
	① 別途積立金	830,000	
	② 繰越利益剰余金	(2,790,000)	
	利益剰余金合計		(4,920,000)
	株主資本合計		(20,820,000)
	純資産合計		(20,820,000)
	負債及び純資産合計		(30,004,000)

第90回簿記実務検定試験 1級会計 解答速報

(2) 損益計算書

岡山商事株式会社 令和〇1年4月1日から令和〇2年3月31日まで (単位:円)

I 売上高		78,389,000	
II 売上原価			
1. 期首商品棚卸高	2,340,000		
2. 当期商品仕入高	(61,218,000)		
合計	(63,558,000)		
3. 期末商品棚卸高	(2,420,000)		
	(61,138,000)		
4. (棚卸減耗損)	(92,000)		
5. (商品評価損)	(65,000)	(61,295,000)	
売上総利益		(17,094,000)	
III 販売費及び一般管理費			
1. 給料	8,127,000		
2. 発送費	874,000		
3. 広告料	1,592,000		
4. (貸倒引当金繰入)	(37,000)		
5. 減価償却費	(598,000)		
6. (退職給付費用)	(802,000)		
7. 支払家賃	1,416,000		
8. 消耗品費	102,000		
9. 保険料	(480,000)		
10. 租税公課	273,000		
11. (雑費)	(174,000)	(14,475,000)	
営業利益		(2,619,000)	

(3) 損益計算書に記載する当期純利益 円 3,180,000

<ポイント解説>

1. 付記事項の仕訳

(1) 売上割引

(現 金)	147,000	(売 掛 金)	150,000
(売 上 割 引)	3,000 *		

* $¥150,000 - ¥147,000 = ¥3,000$

(2) 期限到来済み社債利札

(現 金)	20,000	(有 価 証 券 利 息)	20,000
---------	--------	-----------------	--------

2. 決算整理事項の仕訳

(1) 期末商品の評価

(仕 入)	2,340,000	(繰 越 商 品)	2,340,000
(繰 越 商 品)	2,420,000 * ¹	(仕 入)	2,420,000
(棚 卸 減 耗 損)	92,000 * ²	(繰 越 商 品)	157,000
(商 品 評 価 損)	65,000 * ³		
(仕 入)	157,000	(棚 卸 減 耗 損)	92,000
		(商 品 評 価 損)	65,000

* 1 $@¥920 \times 1,500 \text{個} + @¥800 \times 1,300 \text{個} = ¥2,420,000$

* 2 $(1,500 \text{個} - 1,400 \text{個}) \times @¥920 = ¥92,000$

* 3 $(@¥800 - @¥750) \times 1,300 \text{個} = ¥65,000$

(2) 貸倒見積高の算定

$(¥2,200,000 + ¥3,150,000 - ¥150,000) \times 1\% - ¥15,000 = ¥37,000$

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	37,000	(貸 倒 引 当 金)	37,000
-------------------	--------	---------------	--------

(3) 有価証券の評価

① 売買目的有価証券

(売 買 目 的 有 価 証 券)	30,000 *	(有 価 証 券 評 価 益)	30,000
---------------------	----------	-------------------	--------

* $@¥4,000 \times 300 \text{株} - ¥1,170,000 = ¥30,000$

② 満期保有目的債券

(満 期 保 有 目 的 債 券)	8,000 *	(有 価 証 券 利 息)	8,000
---------------------	---------	-----------------	-------

* $¥1,952,000 - ¥1,944,000 = ¥8,000$

(4) 固定資産の減価償却

① 建物

(減 価 償 却 費)	150,000 *	(建 物 減 価 償 却 累 計 額)	150,000
---------------	-----------	-----------------------	---------

* $¥7,500,000 \div 50 \text{年} = ¥150,000$

② 備品

(減 価 償 却 費)	448,000 *	(備 品 減 価 償 却 累 計 額)	448,000
---------------	-----------	-----------------------	---------

* $(¥3,500,000 - ¥1,260,000) \times 20\% = ¥448,000$

(5) 保険料の前払高

(前 払 保 険 料)	60,000	(保 険 料)	60,000
---------------	--------	-----------	--------

第90回簿記実務検定試験 1級会計 解答速報

(6) 利息の未払高

(支 払 利 息)	8,000 *	(未 払 利 息)	8,000
-------------	---------	-------------	-------

* $\text{¥}4,000,000 \times 2.4\% \times \frac{1\text{カ月}}{12\text{カ月}} = \text{¥}8,000$

(7) 退職給付費用

(退 職 給 付 費 用)	802,000	(退 職 給 付 引 当 金)	802,000
-----------------	---------	-------------------	---------

(8) 法人税等

(法人税、住民税及び事業税)	954,000	(仮 払 法 人 税 等)	450,000
		(未 払 法 人 税 等)	504,000

3. 税引前当期純利益の計算

(1) 営業外収益

受取地代：¥480,000

受取配当金：¥102,000

有価証券利息：¥40,000 + ¥8,000 = ¥48,000

有価証券売却益：¥140,000

有価証券評価益：¥30,000

営業外収益合計：¥800,000

(2) 営業外費用

支払利息：¥88,000 + ¥8,000 = ¥96,000

売上割引：¥3,000

営業外費用合計：¥99,000

(3) 特別損失

固定資産除却損：¥140,000

(4) 税引前当期純利益

$\text{¥}2,619,000 + \text{¥}800,000 - \text{¥}99,000 - \text{¥}140,000 = \text{¥}3,180,000$

全商簿記検定対策講座がネットスクールでスタート！
 スマホがあればいつでも分かりやすい講義が聞けるから、
 試験対策だけでなく授業の予習・復習にもピッタリ！

全商簿記検定対策講座

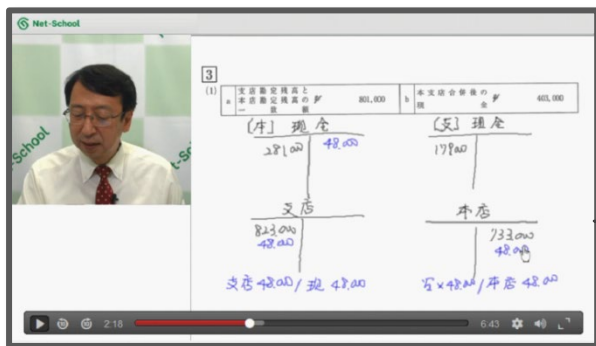


教科書の著者によるわかりやすい解説！

講義はすべてオンラインで何度でも視聴可能！
 受講期間中は質問もできる合格に直結した
 講座です！



▼講義画面イメージ▼



テキストや問題に先生が直接書き込みながら説明するので、問題の解き方なども分かりやすい！

分からないところがあれば、分かるまで何度も見直しOK！

講座受講料金

※金額は税込金額です。 ※1級コース教材別のご用意はございません。

	3級	2級	1級 会計	1級 原価計算	受講料金 教材込	受講料金 教材別
0から始める 2級コース	●	●			18,000円	15,500円
1級会計コース			●		20,000円	—
1級原価計算コース				●	20,000円	—
1級2科目コース			●	●	38,000円	—

講座の詳細内容はネットスクールWEB-SHOPをご確認ください。

<https://www.net-school.jp/>

